

神崎町消防団第2分団第1部（郡部）、ポンプ操法大会 接戦を制し **7連覇** を達成！！



緊張の一瞬！指揮者の指示により操法開始



真剣な表情で放水を行う指揮者と1番員

優勝おめでとうございます

選手紹介：左から指揮者・石井利幸さん

1番員・鈴木淳史さん

2番員・横山貴光さん

3番員・石橋一博さん

吸管補助員・松岡伸一さん

（公財）千葉県消防協会香取支部によるポンプ操法大会が7月1日、香取市山田中央運動広場野球場で開催されました。小型ポンプの部には香取郡市の各消防団より8チームが参加し、神崎町消防団からは郡部が出場しました。

昨年のポンプ操法大会は、東日本大震災の影響により中止され、今年は2年ぶりの開催となりました。各市町の出場チームが6回連続で優勝している神崎町を打倒することを目標に掲げる中、郡部の選手たちには大きなプレッシャーとなっていました。日頃からの猛練習の成果を十分に発揮し見事な演技を披露しました。成績発表では上位3チームの僅差が予想され、どのチームが優勝するか分からない状況でしたが、郡部が見事優勝し7連覇を成し遂げました。

また、個人成績において最優秀指揮者を石井利幸さん、最優秀2番員を横山貴光さんが受賞しました。

なお、優勝した郡部は香取支部の代表として7月28日の県操法大会に出場しました。



畑で食育体験

神崎・米沢小学校児童が

大豆種まき

7月11日、神崎・米沢小学校の児童が神宿地区の畑で大豆の種まき作業を体験しました。

小学3・4年生を対象とした大豆の種まきは、寺田本家とこうざき自然塾が先生となり、畑を提供して、食育の授業の一環として行われました。

種まき作業では、児童が3人1組となり、割箸で穴をあける係、大豆を穴に入れる係、大豆に土をかける係と役割を決めて流れ作業で種まきをしました。今回種まきした大豆は、12月には収穫され、2月には味噌作りが行われる予定です。



3人1組で種まきする児童